

下諏訪町都市公園におけるキッチンカー等の出店募集について

住民や観光客の方に対するサービス向上を目的に、町が管理する都市公園におけるキッチンカー等による飲食販売等が可能となりました。

下記の期間で受付を行いますので、出店を希望される事業者の方はお申し込みください。

◆出店期間：令和4年4月16日(土)～令和5年3月31日(金)

◆受付期間：令和4年3月14日(月)～4月1日(金)

◆対象施設：赤砂崎公園(右岸・左岸)

みずべ公園

八幡坂高札ひろば

あすなろ公園

四ツ角湯けむりひろば 計5施設



◆注意事項

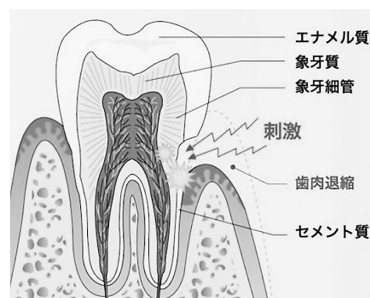
- ・申し込みにあたっては、担当課への問い合わせもしくは、町ホームページをご確認の上、必要書類の提出をお願いします。
- ・受付期間以降も随時予約は受け付けますが、予約状況によっては出店をお断りすることがあります。予めご承知おきください。

■ 問い合わせ 下諏訪町 建設水道課 都市整備係 ☎27-1111 (内線244)

歯科コラム dental column

知覚過敏症について

知覚過敏症とは、歯ブラシの毛先が触れたり、冷たい飲食物、甘いもの、風があたった時などに歯に感じる一過性の痛みで、特にむし歯や歯の神経の炎症などの病変がない場合にみられる症状を言います。歯の最表層にあるエナメル質は削っても痛みを感じることはありません。エナメル質の内層には象牙質(ぞうげしつ)と呼ばれる組織があり、また歯根部はエナメル質がなく象牙質でできています。その象牙質が器具でこすられたり、冷たいもの等に触れると、その刺激が内部の神経に伝達されて痛みを感じます。



【 知覚過敏症の原因 】

原因としては、歯周病による歯肉の退縮や、歯ぎしり、過度なブラッシング圧による歯のすり減り、酸性食品摂取による酸蝕(さんしょく)症など様々です。また、口腔清掃不良によりプラークが付着した状態が長く続くと、歯の表面が酸により溶けて、知覚過敏症が起きやすくなります。この場合には、むし歯も進行しやすくなります。

【 知覚過敏症の予防法 】

知覚過敏症の確実な予防法はなく、健康な歯肉でも加齢によってある程度歯肉が退縮することは避けることができません。歯の根部(象牙質)の露出を防ぐには歯周病の予防に努めることや、歯肉の退縮が進みやすい不適切な歯みがき法をしないことです。歯石の沈着により歯周病が進行している場合、歯石除去によって知覚過敏症を引き起こすこともあります。そのような方は、歯石を剥がす治療の際に発生する物理的な刺激や熱を軽減するために出る水が、しみています。知覚過敏症状が強く水を使えないような方は、手用スケーラーと呼ばれる器具で歯石を取ることも可能です。

【 知覚過敏症の対処法 】

対処法としては、知覚過敏症を抑制する成分の入った歯磨き粉の使用や、柔らかい毛先の歯ブラシの使用などご自身の対応で改善されるケースがあります。ですが、歯肉の退縮により象牙質が大きく露出したケース、歯のすり減りが多いケースなどではセルフケアでは改善されない場合もあります。歯科医院では、露出した象牙質の内部の小さなすきまを、歯と同じような成分の結晶や、その他様々な物質で封鎖することで、歯の神経への刺激の伝達を遮断する治療法もあります。自分では知覚過敏症であるのか、むし歯などによる痛みであるのかは分かりにくいので、一度かかりつけの歯科医院で診てもらってはいかがでしょうか。

■ 問い合わせ 岡谷下諏訪歯科医師会 ☎23-8320